

6. 今後へ向けた提言

6.1 これまでの検討成果のまとめと今後の課題

(1) デジタル道路地図の迅速な更新

- 道路管理者からの収集する図面情報の内容および提供の仕組みの概要を明確化。
- 今後は、引き続き道路平面図等の試行提供を通じた利用者による評価を行うとともに、実運用へ向けた体制等の構築、提供する図面（情報）の内容のさらなる充実および直轄国道以外の道路への展開シナリオの具体化が必要。
- カーナビ地図のリアルタイム更新へ向けた、官民それぞれの課題を整理。
- 今後は、官民連携した社会実験等を通じ、道路の最新情報の必要性を周知するとともに、課題を踏まえた技術開発やビジネスモデルの確立が必要。

道路管理者からの図面情報の提供については、情報の作成方法、平成 17 年度における電子納品の試行状況について整理を行なったうえ、情報提供加工手順、提供を行うデータ項目の検討を行った。さらに、実際の提供方法について、電子納品データ品質確保のための取り組み、関連法律から見た解釈、図面情報提供のインターフェースの検討を行った。

また、平成 18 年度は道路平面図等の道路管理者外への試行提供を行い、提供システム等に関する検討を行った。

これらの検討の結果、道路管理者から収集する図面情報の内容および提供の仕組みの方針を整理した。

今後は、引き続き道路平面図等の試行提供を通じた利用者による評価を行うとともに、実運用へ向けた体制等の構築、提供する図面（情報）の内容のさらなる充実および直轄国道以外の道路への展開シナリオの具体化が必要である。さらには、「地理空間情報活用推進基本法」などの周辺状況を踏まえた、利用者への図面提供のあり方の検討が必要である。

カーナビ地図のリアルタイム更新に向け、既存車載器技術での部分更新の実現性を検討した上で、リアルタイム更新へ向けた官民それぞれの課題を整理した。

今後は、官民連携した社会実験等を通じ、道路の最新情報の必要性を周

知するとともに、カーナビのリアルタイム更新へ向け、官民双方の課題を踏まえた技術開発やビジネスモデルの確立を目指す必要がある。

(2) デジタル道路地図を用いた安全走行支援

- 安全走行支援へ向けたデジタル地図を活用した安全運転支援の対象サービス例を具体化。
- 今後は、周辺動向と歩調を合わせつつ、走行支援へ向けたデジタル道路地図の具体化についての詳細検討を推進するとともに、デジタル道路地図を活用した走行支援アプリケーションの研究開発およびナビ地図と車載器のインターフェイスの定義の具体化についての検討が必要である。

デジタル地図を活用した安全運転支援の対象サービス例として、カーブ警告、交差点警告を対象に、サービスイメージ、必要な地図情報、実験による検証項目等の素案を具体化した。

今後は、安全走行支援に関する周辺動向と歩調をあわせつつ、走行支援へ向けたデジタル道路地図の具体化についての詳細検討を推進するとともに、デジタル道路地図を活用した走行支援アプリケーションの研究開発およびナビ地図と車載器のインターフェイスの定義の具体化についての検討が必要である。

(3) 道路の共通位置参照方式

- 道路の共通位置参照方式に求められる要件を整理し、基本的考え方をとりまとめた。
- 今後は、方式案の実現可能性分析・評価、運用へ向けた課題の整理・体制の構築、活用面から見た普及させるための仕組み・工夫および国際標準との整合など実用化へ向けた準備が必要。

共通の位置参照方式に求められる要件を整理し、道路の共通位置参照方式における、適用範囲、要件、対象とする道路、基本的な構成、命名則、路線上の位置の参照方法、経年変化への対応について基本的考え方の素案をとりまとめた。

今後は、実験による方式案の実現可能性分析や評価を実施し、運用へ向けた課題の整理や体制の検討を行う必要がある。さらには、活用面から見た本方式を普及させるための仕組みや工夫を具体化するとともに、実用化へ向けて、国内他分野（自律移動支援、歩行者 ITS 等）における類似技術との整合性確

認や、国際標準との整合性確保などの検討が必要である。

(4)標準化

- 道路側が重点的に活動する項目及び標準化活動の目標について整理。具体的な検討に着手。
- 今後は、目標達成へ向けた戦略的かつ継続的な活動が必要。

ISO/TC204/WG3 における活動を整理した上で、道路側からみた今後の関わりを具体化した。次に、道路側の方針として、現在行われている WG3 の活動と道路側の検討と整合性を保つための方針を具体化した。整理した方針の内容は以下の通りである。

(道路側における ISO/TC204/WG3 活動の目標)

【SWG3.1】

- ① DRM21 と国際標準(XGDF)の整合性確保
- ② 次期 XGDF へ向けた戦略の具体化

【SWG3.2】

- ① 国内における業界の検討等を踏まえた詳細仕様案の具体化および技術的優位性評価(必要な技術開発含む)
- ② 日本の技術との親和性が高いリアルタイム配信へ向けた地図配信データ構造標準案の具体化

今後は、設定した上記の目標実現へ向けて、戦略的かつ継続的な国際標準化活動を行うことが必要である。